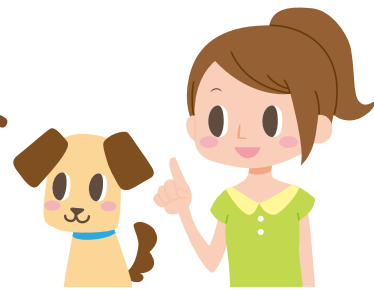


愛犬の変化を見逃さないで!

# 病気の早期発見チェックリスト

愛犬は具合が悪くても、言葉で伝えられません。

日頃からこんなところに気をつけて、健康チェックをしてあげてくださいね。



- |   |  |   |
|---|--|---|
| <p><b>1 食欲はどうか?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 食べない。急に食欲がなくなった。(いつもと同じだけあげているのに、残してしまう)</li> <li><input type="checkbox"/> 偏食が多くなった。(以前はふつうに食べていたものを食べなくなった)</li> </ul>   | <p><b>5 口や歯の様子は?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> よだれが出る。口を閉じない。</li> <li><input type="checkbox"/> 食べたそうするのに食べられない。</li> <li><input type="checkbox"/> 出血している。</li> <li><input type="checkbox"/> 口臭がひどい。</li> <li><input type="checkbox"/> 歯が抜ける。(乳歯以外)</li> <li><input type="checkbox"/> 歯が重なって2重にはえている。</li> <li><input type="checkbox"/> 歯茎や舌の色が悪い。(白くなっている)</li> </ul> | <p><b>8 便の様子は?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 血が混じっている。</li> <li><input type="checkbox"/> ゆるい。(便が軟らかい)</li> <li><input type="checkbox"/> 下痢をしている。</li> <li><input type="checkbox"/> 便が出ない。(便秘をしている)</li> </ul>   |
| <p><b>2 体型はどうか?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 太ってきた。</li> <li><input type="checkbox"/> やせてきた。(よく食べるのに、やせてきた)</li> <li><input type="checkbox"/> おなかが膨れてきた。</li> <li><input type="checkbox"/> 身体の一部が腫れている。</li> </ul>   | <p><b>6 毛や皮膚は?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 毛の状態がおかしい。(毛が一部分だけ抜けていたり、不揃いになっている)</li> <li><input type="checkbox"/> かゆがっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 虫(ノミやダニなど)がついている。</li> <li><input type="checkbox"/> 皮膚が赤くなっている。</li> <li><input type="checkbox"/> 皮膚がただれている。</li> <li><input type="checkbox"/> フケが多い。</li> </ul>   | <p><b>9 尿の様子は?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> おしっこの色がおかしい。(赤い、白っぽい、黄色い、など)</li> <li><input type="checkbox"/> 出ない。少ない。(出そうとしているのに出ない)</li> <li><input type="checkbox"/> いつもはちゃんと決められたトイレですのに、違う場所で排泄したり、もらしてしまう。</li> <li><input type="checkbox"/> においがきつい。</li> </ul>  |
| <p><b>3 散歩のときは?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 歩くのがつらそう。</li> <li><input type="checkbox"/> 散歩に行きたがらない。</li> <li><input type="checkbox"/> 元気がない。</li> <li><input type="checkbox"/> 歩き方がいつもと違う。</li> </ul>   | <p><b>7 耳はどうか?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 耳をかく。(かゆがる)</li> <li><input type="checkbox"/> 耳の中が臭い。</li> <li><input type="checkbox"/> 頭をしきりに振る。</li> <li><input type="checkbox"/> 耳の中が汚れている。</li> </ul>   | <p><b>10 ほかにも、こんなことに気をつけましょう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 水をよく飲むようになった。</li> <li><input type="checkbox"/> 吐く。</li> <li><input type="checkbox"/> 体的一部分をしきりになめる。</li> <li><input type="checkbox"/> 咳をよくする。</li> <li><input type="checkbox"/> お尻をこすりつける。</li> <li><input type="checkbox"/> 鳴き声がおかしい。</li> <li><input type="checkbox"/> よだれが出る。(よだれが止まらない。悪臭があったり血が混じっている。あぶく状になっている)</li> </ul> |
| <p><b>4 目はどうか?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 目ヤニが出る。</li> <li><input type="checkbox"/> 目をつぶる。(まぶしそうにする)</li> <li><input type="checkbox"/> 目(結膜)の色が赤い。</li> <li><input type="checkbox"/> 目の表面(角膜)が白く見える。</li> <li><input type="checkbox"/> 目の内側(水晶体)が白く見える。</li> <li><input type="checkbox"/> 目をかゆがり、こする。</li> </ul> |  |   |

「見て」「触って」「におって」確かめる。

# おうちで愛犬の健康チェック



毎日にげなく行っている「愛犬の体に触れる」、「愛犬を見る」ことは、体調の異変をチェックできるとも大切な機会です。ちょっとした変化に早めに気づけるよう、愛犬とスキンシップするときに、気をつけたいポイントをご紹介します。気になることがあれば、早めに動物病院で受診しましょう。

## ボディチェックのポイント

### 耳

耳の中においをかいで異常がないか確認。ふだんと違うべつべつした耳アカの場合も耳の病気の可能性があります。

### 目

目をしょぼしょぼさせていたり、目ヤニや涙がたくさん出ていないかチェック。瞳や白目の色に変化がないかも確認しましょう。

### 口

愛犬の口を開けて、舌や歯茎の色、歯の状態を見ましょう。口をこじ開けることができない子は、あくびをしているときに観察してください。

### 毛・皮膚

毛が抜けている、赤くなっているところはないか確認。かゆがっていたり、気になる部分は、毛をかきわけて地肌もチェック。首輪を外して隠れている部分も観察しましょう。

### 尿・便

色やにおい、形、回数、排便・排尿にかかる時間もチェックしてください。異常があればすぐに気づけるように、正常な状態を把握しておきましょう。

●見られると排泄を我慢してしまう子もいますので、嫌がっているようなら、あまり注視しないようにしましょう。

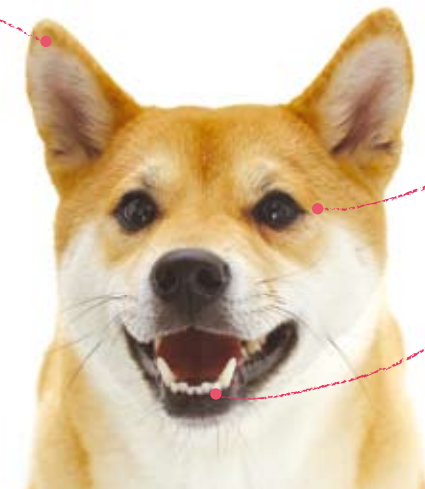
### 足・肉球

歩き方に変化がないか毎日チェックしましょう。肉球は表面だけでなく、指の間も広げて観察を。足や肉球をしきりになめるときは、炎症を起こしている場合もあります。

### お腹

皮膚が赤くなっていないか、お腹や乳首部分にしこりのようなものがないかチェック。

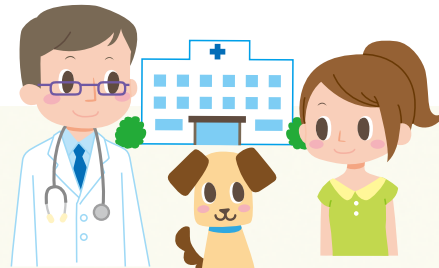
腫れ物を見つけたときは強く押さないで! もし腫瘍だった場合は押すことで拡がる可能性があります。



愛犬の健康管理

診察を受ける前に確認しておくで便利!

病院では、できるだけ落ち着いて正確に愛犬の状況を伝えることが重要です。診断や治療をするうえで必ず聞かれることを、あらかじめまとめておきましょう。



診察チェックシート

愛犬について

名前 ( ) 性別 ♂・♀  
 生年月日 ( )年( )月( )日 年齢 ( )歳  
 飼い始めた時期 年 月 日頃

- 飼っている場所 室内・屋外・室内+屋外
- 同居動物はいますか? いる 種類( )・いない
- 食事について 1日 回  
種類は? ドライフード・缶詰・手作り・その他( )
- 銘柄(メーカー名 商品名 )
- 今までにかかった病気はありますか? ( )
- 現在治療中の病気はありますか? ( ※薬を飲んでいる場合は持参してください。 )
- 狂犬病予防ワクチン接種の時期 (最終接種日 )
- 混合ワクチン接種について している・していない  
している方は…(最終接種日 )(種類 種混合ワクチン)
- フィラリア予防について している・していない  
している方は…(最終投薬日 )(薬剤名 )
- ノミの予防はしていますか している・していない  
している方は…(最終投薬日 )(薬剤名 )
- 去勢・避妊手術はしていますか している・していない  
している方は… 年 月 日
- 発情の時期 月頃
- 動物保険に加入していますか? はい(保険会社名 )・いいえ

異変・症状について

異変に気づいたのはいつですか? ( )  
 どういった症状ですか? (食欲はあるか、排便・排尿の状況、嘔吐や下痢の有無、出血の状態など)  
 ( )  
 症状の原因は? 思い当たる原因は何ですか? ( )  
 可能なら便や尿、吐いたものを持参しましょう



知っていればより安心  
動物病院でスムーズに受診するために

「動物病院が大好き」というわんちゃんばかりではないですが、愛犬が健やかに過ごしていくためには、定期的に動物病院へ通い、健康管理をしておく必要があります。いざ病院へ行くときに少しでもスムーズに受診できるよう、準備しておきましょう。

来院する前には

かかりつけ動物病院を決めておく

病院名、住所、電話番号、診察時間、休日などを確認しておきましょう。

来院前に連絡を

予約ができるかどうかは病院によって異なりますが、事前に連絡をしてから行きましょう。

持っていくものは?

事前に電話で確認しましょう。下痢などのときは便を持参したほうがいい場合もあります。持っていくときはティッシュで包まず、食品用ラップフィルムに包んでいきましょう。新鮮な尿を持っていくのは難しく動物病院で採尿してもらえますので、無理に持っていく必要はありません。

その犬のことを一番知っている人が連れて行く

獣医師さんから聞かれることに答えるには、ふだんからその犬のことをよく知っていて、症状を説明できる人が連れていくことが一番です。そうできない場合でも、その人と連絡が取れる状態にしておいてください。

動物病院の中では

飼い主さんもリラックスしましょう



病院へ行くと緊張してしまいがちですが、飼い主さんの緊張は愛犬にも伝わります。リラックスして受診しましょう。

他の動物とできるだけ接触させないで

待合室は色々な動物が来ていますので、できるだけ接触させないようにしましょう。中・大型犬はリードをつけ飼い主さんがしっかりコントロールできるようにしておいてください。小型犬の場合もキャリーに入れり、ひざの上で抱っこするようにしましょう。

治療中(処置中)は愛犬に不用意に声を掛けないで

愛犬を励まそうとつい「がんばって」「大丈夫よ」と声をかけてしまいがちですが、処置中は静かに見守りましょう。飼い主さんの声があると、犬が動いてしまったり、甘えて治療をいやがってしまい、獣医師さんの処置を邪魔してしまう結果になることがあります。

普段から気をつけたいこと

メモをしましょう

愛犬の様子がいつもと違うと思ったら、そのときの様子や症状をメモしておいて、また病院では診察結果や処方された薬の名前や与え方などをメモしておくといいでしょう。

こんな時はどうする?

言葉では説明しにくい症状を伝えるには…

「呼吸がおかしい」「発作を起こす」などの場合は、診察時には症状が起こらないことが多いので、説明しづらく伝えるにくいものです。携帯電話やデジタルカメラなどで動画を記録しておいて獣医師さんに見せることも有効な方法です。

定期検診っていつすればいいですか?

7歳未満の成犬は年1回、7歳以上は半年に1回が目安です。狂犬病予防や混合ワクチンの接種などの時期を分けて受けるようにすれば、1年に何回か通院することになり、愛犬の健康チェックの機会が増えますね。